

●書き初めを行いました ～心をこめて、一画一画…～

1月10日～13日の期間に、全ての学年で書き初めを行いました。心を落ち着け、しっとりとした雰囲気の中、各々が書をしたためました。

日本古来より年頭行事として行われている「書き初め」ですが、そもそもどういう行事なのか、改めて確認してみました。

○いつ行う?・・・1月2日に行うのが一般的です。

○どうやって行う?・・・新年に初めてくむ井戸水（若水）で墨をすり、その年の恵方に向かって詩歌を書く、というのが江戸時代のスタンダードだったそうです。

○行うことの意味は?・・・一年の抱負を書き、行動を新たにする、目標の成就を願う等の意味があります。江戸時代には、字が上手になることを願うという意味もあったようです。

○書いた後の作品はどうする?・・・松の内（1/7または15）まで飾っておいて、その後左義長やどんど焼きで、正月飾りと一緒に燃やします。燃やした時に炎や燃えかすが高く舞い上がると字が上達すると言われています。
(※諸説あります。)



●防災訓練（無告知）を行いました

1月13日（金）、地震を想定した防災訓練を行いました。本校では、引き渡し体制作りを含めて、年間5回の防災訓練を行っています。今回は、1年間で最後の訓練となり、子供たちにも教員にも事前にいつ行われるかを知らせずに行いました。これまでの訓練の成果が表れ、みんな真剣に、すばやく避難することができました。

南海トラフ地震や相模トラフ地震等、巨大地震の発生が危惧されています。いざというとき、パニックにならずに行動することは非常に難しいことが予想されます。だからこそ、習慣のように繰り返してきた動きが、子供たちの命を救ってくれることを信じて、これからも防災訓練を行い、確実な避難態勢を作っていきたいと考えています。

●体罰、ハラスメントのない学校

昨今大きな問題となっている、教職員による体罰やハラスメント等の根絶を目的として、静岡県教育委員会より調査依頼がありました。

今年度、本校教員による体罰やハラスメントについて、お気づきの点や情報がありましたら、教頭（牧野）または校長（力石）までお知らせください。

